

会議	第3回 坂井市行政改革推進協議会	記録	
日時	令和6年12月19日(木)午後1:30~	事務局	財政課 高倉課長
場所	坂井市役所 災害対策本部室		
出席委員	桑原会長、赤土委員、半澤委員、伊藤委員、小林委員、関委員、久中委員、吉田委員、石森委員		
欠席委員	中垣内委員		
事務局	新開副市長、小川財務部長、松本総務部長、高倉財務部次長兼財政課長、野路行政改革参与、財政課福田課長補佐、同課近間課長補佐、同課阪本課長補佐、同課白崎主査		
資料	<b>【資料1】</b> 第四次行政改革大綱(原案) <b>【資料2】</b> 第四次行政改革大綱実施計画(原案)		

1. 開会	(財政課長)	<p>只今から、坂井市行政改革推進協議会を開催いたします。</p> <p>本日、会議の進行を務めます、財政課、高倉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。</p> <p>なお、中垣内委員におかれましては、本日ご都合により欠席の連絡を頂いておりますのでご報告させていただきます。</p> <p>では、会議次第に従いまして進行させていただきます。</p> <p>では桑原会長から招集のご挨拶をいただきまして、その後は会長の進行で進めていただきたいと思います。</p> <p>会長お願いいたします。</p>
2. 会長あいさつ	(桑原会長)	<p>皆様、年末のお忙しい中、お時間頂きましてどうもありがとうございます。</p> <p>今回で3回目ということで、いろんなご意見を頂き、この大綱のほうもかなり充実してきたのではないかなと思います。</p> <p>トランスフォーメーション、変革をするということは、前例踏襲のほうが、省力化できて非常に便利ではあるんですが、やはり、世の中の流れの中で、いろいろ変わっていかないといけないものと、変わらないためには変わらないといけないのかなというところもあるので、皆様のいろんなご専門の見地から、ご意見をさらに頂ければと思います。</p> <p>本日もよろしくお願いいたします。</p>
3. (1)第四次坂井市行政改革大綱原案について	(桑原会長)  (事務局)  (桑原会長)	<p>それでは早速協議に入りたいと思いますが、次第に沿いまして、進めてまいります。</p> <p>協議事項の(1)第4次坂井市行政改革大綱の原案につきまして、事務局よりご説明お願いいたします。</p> <p><b>【資料1】</b>に基づき、第四次行政改革大綱(原案)について説明。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明に関しましてご質問、ご意見をお伺いしたいかと思っております。</p> <p>非常に分かりやすくなったと思っておりますし、洗練されて、ストーリーとして非常に、通りが良いと思っております。結構大きい変更点としてこのDX、CX、JX、ZXと8ページのところが大きく、順番を変えましたというお話があったか</p>

<p>3. (1) 第四次 坂井市行政 改革大綱原 案について</p>	<p>(桑原会長)</p>	<p>と思います。</p> <p>この点につきまして、改めて前回のものと比較をしてみると、何か系統だっただけでできている、変わったなというふうに思いますが、この DX があってこそ、DX1 のほうで、市民サービス、DX2 のほうで市役所の業務、DX1 が CX に繋がり、DX2 のほうが JX に繋がっていて、全体として ZX みたいなもので、もっと包含して SX に繋がるみたいな、きちんと筋道ができているように思えました。</p> <p>それだけに、戻って見てみると、なぜ今 SX かというところに、そういう構図というのがちょっと見えにくいのかなというふうに思います。</p> <p>せっかく変えていただいて、前回からするとですね、国際情勢とかも含めて外が変わっているから内も変わらないと、というところは非常に盛り込めてはいるんですが、今の 8 ページのところの基本方針と視点というのが、なぜこの順番なのかとか、なぜこれを重要視するのかといったところの記載というか、今のような構図が見えると、さらに良いのかなと思いました。</p> <p>あとは細かい文言であるとか、皆様から前回頂きましたご意見が反映されているかと思うんですが、もし、ご自身のご発言で、ちょっとそういう意味じゃなかったんだけど、という箇所がありましたら教えていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>(委員)</p>	<p>今ほどの DX、CX とかの順番の件は、前回のとき私はこだわっていたんですが、今、並び替えただけで、受ける印象が随分と違うなと思って、系統立てて出ていますし、よかったというふうに思いました。</p> <p>はじめにを見ましても、前回、委員さんが内向きだと、あの言葉、物すごくうまく言い表しているなと思ったんですが、今回を見ると、市民ファーストの姿勢が、この文言の中に出ていて、前回よりも、すごくよくなっていると思いました。</p> <p>ただちょっと思ったのは、デジタル技術を活用した市全体の DX、その後に、地域民間と多様な主体との連携、ここで例えば CX とかを入れてもいいのかなと思いました。</p> <p>それと、6 ページを読みますと、柔軟性という言葉がよく使われていますが、この資料からもここにいらっしゃる市役所の方々の柔軟性が読み取れるなと思いました。</p> <p>以前よりは随分と、読みやすくなっていますし、十分と加筆訂正されているなと思いました。以上です。</p>
	<p>(財務次長)</p>	<p>まず、桑原会長からご指摘頂いた DX から ZX を順序立てた方がいいとの件については、この 6 ページのなぜ今 SX が必要かというところに記載したいと思います。</p> <p>また、委員からご意見頂きました点は、若干、はじめにと、なぜ今 SX が必要かの文言がかぶるところがありますので、CX から ZX が分かるような表記は、はじめにか 6 ページかのどちらかには分かりやすく、記載させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
	<p>(桑原会長)</p>	<p>今のご発言の中でふと思ったのですが、6 ページの 2 行目に、国際情勢を</p>

<p>3. (1) 第四次 坂井市行政 改革大綱原 案について</p>	<p>(桑原会長)</p>	<p>端とした物価上昇、DX の実現に不可能なと出てくるんですが、ここで使われている DX、一般名称としての DX ですよね。</p> <p>ただ、この大綱全体で DX というのは、坂井市 DX を言いたいと思うので、この一般名称の DX は切ってしまうと、単なるデジタル技術の進展みたいな形に変えて、その上でここで使う DX とはこういう意味ですとした方が、混乱しないのかなと思います。はじめにで書かれている市全体の DX と明記されているので、こういう書き方ならいいかと思うんですけど、一般名称の DX をあえて入れない方が良くないかなと思いました。</p>
	<p>(委員)</p>	<p>まず、誤字的なことなんですが、8 ページ、の CX、コミュニティートランスフォーメーションの間に半角スペースがないのがちょっと気持ち悪いなと思いました。</p> <p>もう一つです。あとは感想ですが、先ほど委員もおっしゃっていたように、市民目線というところがしっかり反映されているというふうな感想を持っています。</p> <p>あと質問ですが、この CX というのは、例えば区、自治会の運営のことも、何かやりやすくなるということなんですか。</p>
	<p>(財務次長)</p>	<p>はい、この後の 2 番目の実施計画の中で、具体的な取組の概要説明をさせていただきます。</p>
	<p>(委員)</p>	<p>9 ページの DX 推進の下から 3 行目にある、DX 推進による業務効率の向上により軽減された人員と書いてあるんですが、私のイメージだと軽減というと、例えば負担が軽減するとか、苦痛が軽減するという使い方をしますが、人員の場合、軽減という使い方するのでしょうか。時間と人員はともに軽減されたという使い方ですよね。人員的に減らすとなると、普通は人員削減という使い方をするので、読んだときにちょっと引っかかりました。</p>
	<p>(桑原会長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かに前は、経費と時間と負担が軽減されるようになっていたと思います。負担の軽減よりもちょっと強い意味合いを出そうと思われたところでしょうか。</p>
	<p>(副市長)</p>	<p>はい、おっしゃるとおりのご指摘かなと思います。</p> <p>生み出されるとか、捻出されるといったような意味合いの言葉に、変えたほうがよりぴったりかなと、今のご意見を伺ってそんな気持ちを持ちました。</p>
	<p>(委員)</p>	<p>軽減という言葉が人員に係っているの、いかがでしょうか。</p>
	<p>(財務次長)</p>	<p>ここの趣旨としましては DX 推進によって軽減された職員の業務負担、そういった意味合いかなと思いますが、わかりやすい表記に変更させていただきます。</p>
	<p>(桑原会長)</p>	<p>前回、委員さんからは、利便性向上とかメリットにフォーカスをあてた方がいいんじゃないかというようなコメントを頂いておりましたが、いかがでしょうか。</p>

3. (1) 第四次 坂井市行政 改革大綱原 案について	(委員)	<p>内容を見まして、すごくいいなと思っています。</p> <p>市全体がよくなるという方向性がすごく分かりやすくなったと思っています。見ていて、そういうことかという風に認識しやすくなったなと思いました。以上です。</p>
	(桑原会長)	<p>前回、14 ページのところ、チェック、アクション、プラン、ドゥーの後に see がいるのではないかとご指摘を頂いておりました。アクションの中で、何かを止めていくという英断を下すというのは、アクションの中に入れていけるんじゃないかというような形で取り込まれたかと思うんですが、この点いかがでしょうか。</p>
	(委員)	<p>やはりいろんな事業をやっているならば、英断を下さなければならないタイミングがくると思うので、駄目だと分かっているからやらなくて、結果を見る前に結論が出るものであれば、英断を下すという意味では、このことを入れていただいたのは、いいかなと思っています。</p> <p>ZX の公共施設のところで、確かに公共施設がいろいろ老朽化してきて、見直しというのが必要になってきているんだと思います。</p> <p>社会福祉協議会が市から委託を受けてやっている事業とか、あるいは管理している施設とか、こういったものについても今老朽化している時期が来ています。市の直轄のものだけではなくて、市が関与するそういったものについては、ここに反映させる必要はないと思うんですけども、きちんとした指導と協力をお願いしたいなというふうに思っていますので、市からの委託事業あるいは補助事業をやっていると、なかなか、社協の独断では判断できないことがたくさんあると思いますので、その辺また、市と一緒に、市の建物だけじゃなくて、市が関与している建物という意味で、幅広い視野でとらえていただきたいなというふうに思っていますので、お願いします。</p>
	(副市長)	<p>はい。ご指摘のとおり、市の業務そのものを特に福祉の分野を社会福祉協議会の方へお願いしたり、一緒に進めて頂いているというような意味で、委員からもお話あったとおりです。</p> <p>そこは公共施設と同等の捉え方というんですか、その辺の今後の方向性の整理をタイミングとして、来年、行っていくような時期にもありますので、全体を含めて、いい方向に行けるように検討していくという考えであります。</p>
	(桑原会長)	<p>その他はよろしいでしょうか。</p> <p>何かございましたら、また後ほど全体を通してお伺いしたいと思います。</p>
	(桑原会長)	<p>それでは、協議事項 (2) のほうに進みたいと思います。</p> <p>第 4 次坂井市行政改革大綱実施計画の原案ですね、資料 2 について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
	(事務局)	<p>【資料 2】に基づき、第四次行政改革大綱実施計画 (原案) について説明。(略)</p> <p>本日資料として提出させて頂いております、第四次行政改革大綱実施計画 (案) は、大綱の重点項目の中の取組項目を具体的に示しております。</p> <p>ただし、この実施計画は、この推進協議会で取りまとめられた行政改革大</p>

<p>3. (2)第四次 坂井市行政 改革大綱実 施計画案に ついて</p>	<p>(事務局)</p> <p>(桑原会長)</p>	<p>綱に基づきまして、坂井市において策定するものとなっております。また、ここにお示した実施計画の内容は、あくまでも、現時点の内容であります。後ほどご説明しますが、今後大綱のパブリックコメントを予定しておりますので、若干の加筆修正をした上で、行政改革大綱の答申とあわせて、本年度中の策定を予定しております。</p> <p>今後、当推進協議会におきまして、この行革大綱実施計画の進捗状況についてご意見をお伺いすることになると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>この場でも少しご意見を頂きたいと思います。</p> <p>例えば、先ほど委員さんの方から、この取組項目でいうと8番に当たるのかと思いますが、ここでもうちょっと書き込んでほしいなというところがありますでしょうか。</p>
	<p>(委員)</p>	<p>まさに今私がここに直面している立場であります。</p> <p>3年後ぐらいに区長になってくれないかという話を頂きまして、今日の夕方、話をしてきます。</p> <p>背景を言いますと、私の住んでる自治会は、もともと農地、農業が盛んな、ところに我々のような若い人が団地のような形で入ってきました。</p> <p>それが今15年ぐらいたって、だんだん本村のほうが増えつつあって、団地のほうが増えてきました。</p> <p>これまでは本村のほうだけの人数で区長を回していたけれど、これからは新しいところも、やってくれないかということで、全部で投票したところ、私の票が多かったということで話があったと。</p> <p>今まではそういったことは本村の人に全部お任せして、言われたことだけやっていたらいいなというふうにやっていたんですけども、いざ言われても、何ができるんだろうと不安でいっぱいです。</p> <p>妻も、そんなやめときねと、いうふうに言ってます。</p> <p>こういうのが現状で、次の担い手不足という部分に繋がってるんじゃないかなと思います。</p> <p>原因としましては、今、区長って何だろうということが、その区によって違ったり、何をすることも区によって違くと。違うのはいいんですがその内容を分かりやすく、いやそんな大変じゃないよっていうような、文章にまとめて作業、これが事務作業というなら、これ事務作業でやっていただけないかなあということと、あとはヒアリングをしたりまとめたりしていただくとすごく、担い手不足の解消に繋がるかなということ。あといろんな仲よくなるためのイベントが何か増えていくようなイメージがあって、イベントが増えるということは、それだけ手間が増える、嫌だなということのイメージになってくるのかなというふうに思います。</p> <p>何か増やすのなら何か減らすとか、そういった部分も含め、私もまた今日の話にもよりますけど、区長をどうしようかなっていう話になるかなと思いますので、また3年後のことなんでそれまでに何かこういい形になっていただければなと思ってます。</p>

3. (2) 第四次 坂井市行政 改革大綱実 施計画案に ついて	(委員)	あともう一つすいません、全然関係ないんですけど。この資料ですね横長ですと左上にホッチキスがいいかなというふうに思います。縦長にちょっと左上になっちゃうんですけど、多分これ設定の問題だと思います。以上です。
	(会長)	今のご意見というのは、8番の辺り、何か解決策というかですね、盛り込まれているかと思うんですが、市民協働課のほうの案件というか、上がってきた項目かと思いますが、何かお伺いでしょうか。
	(財務部長)	はい、地区にもよりますけど区長が毎年交代していくということで、なかなか今までのことが分かってなかったりしながら、受けて分かる頃にはもう終わってしまうみたいなところ、そういうふうな感覚があるかもしれません。 今のご意見として、ここにどういうふうに落とし込めるか。それともまた、総合計画等で、どういうふうなことを手助けしていけるのかというところは、少し整理が必要なかなあとは思っております。 8番で一例として出しているのは、デジタル技術というところで示しておりますので、ご意見として承るというところで、また所管課のほうにもご意見があったということをお伝えして、少しでも負担軽減となるような施策がないかというところを考えていきたいと思っております。
	(委員)	今日夕方の話合いでどうなるかっていうことで進めたいと思いますし、ほかにそういった、全国であったり、ほかの市であったり、坂井市内であったり、こういうことしたら、経験のない人でも区長になれたよとか、何かそういう事例があったら共有する仕組みがあるといいかなというふうに思いました。
	(副市長)	区長の皆さんにお願いする具体的な市の業務の説明は毎年、1月2月に旧町単位で行っていますので、その資料をご覧頂くと、おおよそ市からお願いする項目や概要はご理解頂けるのかなと思います。 もう一つ参考に今、委員がご心配になられている区長になられる方が、同じ悩みを共有しているほかの区長の皆さんと一緒にどんなふうに課題解決していったらいいかといったような、そういうワークショップを5回シリーズでやっており、もう5年目ぐらいになりますので、そのような機会のご紹介とか、今まで発表頂いた内容等の資料はお届けできるかなと思います。
	(財務部長)	先ほどのどういうことをしていいかという中で、数年前に自治会運営マニュアルというのを所管課の方で作らして、区長会のおきにお配りしています。 これは今のようなご意見の中でそういうものができてきたという経緯もありますので、一度またご参考にしていただけたらと思います。
	(会長)	ありがとうございました。 総合戦略のほうでもお話を伺っていて、ちょうど若い30代ぐらいの方が、意見をしてもらったんですけどもこういった区の委員さんみたいなものって

<p>3. (2) 第四次 坂井市行政 改革大綱実 施計画案に ついて</p>	<p>(会長)</p>	<p>楽しいよと、区や地域でやっている取組が楽しいということを、もっと若い世代がどんどん参加して発信していかないといけないんだとおっしゃっておられたと思うんですけど、それこそがまさに多分 CX なんだろうなと思いました。地域のことをやらなければならないという発想ではなく、みんなが行きたくなる地域の行事というものに変わっていくような、何かサポートというのは今おっしゃっていただけのような、実は困り事があるんですという共有をするというのも、別にここに書くことはデジタルの問題を書かないといけないわけではないと思うので、そういった取組内容も入れていただくことで、課題の共有をすることによって、よりあえてのアナログの中で解決できていく、コミュニティが変わっていくということがあるのかもしれないので、せっきくの機会ですので、市民協働課さんのほうでも、こういったものも入れてみたらどうかというふうに、お伝え頂ければと思います。</p> <p>では、ほかの項目や全体を通して何かございますでしょうか。</p>
	<p>(委員)</p> <p>(財務部長)</p>	<p>雑談ですが、委員ぜひ区長を引受けてあげてください。</p> <p>いや私も大阪から帰ってきてすぐですね、区長をやってほしいと言われ、うちの地区は 80 件あって、その当時農家でないのは 10 数件しかなかった。70 軒近くが農家で、農業してない人間がその地区の区長をしてほしいと、いわゆる選挙ですから選んだ理由って何だろうなと思ったのが、この地区を時代とともに変えてほしいという期待値が集まっているんじゃないかなっていう気がしますので、私の経験上、区長になりますと市のバックアップはいろんなところで、いろいろサポートしていただいて、担当課の課長さん飛んできて、危険なところあるとそこが危ないと言ってポールをおいてくださったりしましたから、いろいろやっていただけますというのが一つです。私の持論なんですけど、たくさん住民ニーズという言葉が出てくるんですけど、ニーズは坂井市 8 万人いたら 8 万通りあるんです。それを全部取り入れることはできないんですよ。</p> <p>だから、当然住民ニーズは吸収していく必要がありますけれども、むしろそれ以上に、坂井市の行政としてこういうことができますよ、こういう住民サービスをやっていきますと、市の告知広告に力を入れていただいて、住民が坂井市の行政サイドの住民サービスをチョイスできるような形。</p> <p>イータクの話ですが、イータクは使ったことはないんですけども、イータクって何、使いたいけど何だとか、例えば、丸岡から三国にはいけないんだとかとそういうことを、全く認知がされていないですね。</p> <p>利用率はだんだん上がってきているのかもしれないけれど、せっきくいいサービスがたくさんあるのに、それが住民に告知されていないんじゃないかなと思うので、自分の持っている、こういうことをしてほしいというのを行政サイドがどうやって結びつけていくのかという。もっともっと行政サービスの PR があってもいいんじゃないかなっていう気がしますので。</p> <p>いろんなサービスの周知の方法というのは、例えば議会等でもよく言われることで、もっと周知とか、広報とか、それに努めなさいよということで、宿題をもらうことが多々あります。</p> <p>ホームページとか、先ほどの SNS を活用した行政情報の提供とか、項目と</p>

<p>3. (2) 第四次 坂井市行政 改革大綱実 施計画案に ついて</p>	<p>(財務部長)</p>	<p>して追加しているもの、もっと拡充していくものというのを、今回のこの実施計画の中でも盛り込んでおります。</p> <p>その辺り、より充実できるように、こういった SNS、それ以外の手法がまた新たなものが出てくればそういうものを活用していきたいなと思っております。</p>
	<p>(副市長)</p>	<p>坂井市わが町便利帳というのを今年発行しまして、全戸配布しております。</p> <p>今お話があったように、イータクの利用の方法とか、あるいは防災の關係の細かい内容とか、ここに QR コードもついていたりしまして、携帯で見ると、もっと詳しい中身が見れるといったようなもののほかに、市が行っている事業の細かいもの、あるいは、施設の利用の方法、福祉のサービスの受け方といったような、全般にわたっての項目が書いてありますので、デジタルも大事ですけども、アナログの方でもカバーするといったような、うまく組合せてお知らせしていくってというようなことは非常に大事なかなと思っております。参考にまたご覧頂けるとありがたいなと思っております。</p>
	<p>(会長)</p>	<p>その他はいかがでしょうか。</p> <p>1 点だけちょっと気になったんですけど、1 ページ目のところの取組項目 1 の目指す姿に書かれている、各種オンライン申請による書かなくてもいいと書いてあるのですが、こっちの取組効果が書かなくていいとなっています。</p> <p>これは市のほうでは、書かなくていい、行かなくてもよいのワンフレーズは統一されているのでしょうか。</p>
	<p>(財務部長)</p>	<p>窓口やいろんなところでこういう言葉を使っているのですが、今おっしゃるように、結構ばらばらに使っているというところが正直ありまして、整理してきちんと表現させていただきたいと思っております。</p>
	<p>(会長)</p>	<p>書かなくてもいいのほうの方が市民の方に選択権がある感じがあっていいのかなと思ったのですが、はい、ご検討ください。</p>
	<p>(委員)</p>	<p>取組項目 10 番で、多様な PPP、PFI 手法の検討導入とありますが、その取組内容の中で、職員の意識改革というのがあると思うんですが、これ多分住民の意識改革も必要なのかなと思っております。結局、我々住民がこうやって欲しいけどやっぱり予算上駄目ですよとかそういうのがあって、やはりこの研修もそうなんですが、住民が今こういう課題があるよとか、こういうふうに使っていくとこうよくなっていくと、学校施設もそうだと思うんですけどプールも今廃止されている状態です。それについても、じゃもう要らないのかなって思ってしまう、プールのない時代になってしまうのかも分かりませんし、坂井市の PTA の連合会の中でもそういった話が出ています。</p> <p>そういった意味でもやっぱり住民の意識も改革していく必要があるのかなと思っていて、もちろん市でそういった知識は必要だと思いますし、我々も現状こういう改修が進んでるとか、特に物によっては住民自ら管理してるところもあると思うんですよね。</p> <p>そういった使い勝手もあるし、それがいきなりなくなってしまうとどうなのかなと思っておりますし、そういった意味でも、将来のことを考えてこういった</p>



<p>3.(2)第四次 坂井市行政 改革大綱実 施計画案に ついて</p>	<p>(委員)</p> <p>(会長)</p>	<p>意識改革というのも住民にとっても必要なのかなと思っています。</p> <p>そういった情報発信とか研修とかあるといいのかなあと、学校施設でもいろいろあると思いますし、学校施設じゃなくてもそうなんですけど、PTAとしてはそういったことがちょっとどうかかなと思っているので、もしよかったら PTA でもそういった研修会をやるとかというのは一つの手かなと思いますし、施設の使い方をもうちょっと我々も考えていく必要があるのかなと思います。</p> <p>この協議会だったと思うんですけど、どこかの新しい施設をつくったときに、施設で欲しいものを何かシールを張っていくみたいな取組をしていらっしゃるというふうに伺ったんですが、そういうアナログでも良いので、市民の方のご意見取り入れているとか、なぜこういう改革が必要なんだみたいな説明をするということも確かにこの CX の中に入ってくるのかなというふうに思いますので、この取組内容が目指すところに今のご意見を取り込めるんじゃないかなと思いました。</p>
	<p>(委員)</p> <p>(総務部長)</p>	<p>地域防災力の向上ですが、取組内容の中に、地域主催の防災訓練の実施とありますが、これただ単なる人が集まって点呼して終わりというような防災訓練はしてほしくないと思うんですね。</p> <p>私たちの地域では何かそんなふうに終わってしまっているの、例えば避難所のプレハブの中にどんな物資が入っているとか、そういうことも市民や区民の人たちがやっぱり分かってないといけないんじゃないかなと思うんですね。</p> <p>でもそういうふうな連絡っていうのは何もなくて、今年の1月に避難された方たちも使っていないのかどうか分からないような、そんなふうな感じでしたし、もう少しこの避難訓練をするにしても、市のほうからもっと危機感のあるような市の防災訓練みたいなのを実施してもらえるといいんじゃないかなって思います。目指す姿に、若者や女性の参画とありますけれども、もちろんこの地域防災の中にも女性の参画、女性じゃないとできないこととか、女性じゃないと分からないことやできないことというのがあるので、その中に女性の参画みたいなのもちょっと取り入れてもらえるといいんじゃないかなと思いました。</p> <p>委員さんのおっしゃられるとおりでと思います。まず1点、女性や若者の防災訓練の参加ですが、そこはすごく今大事なところだと思っておりまして、また今後、こういう防災訓練は、定期的に繰り返していくことが非常に重要だと思っておりまして。防災訓練をする前には必ず地域の方とどういうことをやっていこうというような協議をさせていただいてから訓練に移るといったような流れにしておりまして、その中でまた地区の役員さん等と協議させていただきたいと思っています。</p> <p>それと地域の防災訓練の在り方ですが、委員さんおっしゃられるとおりであります。地域によっては、集まるだけじゃなくて、それから、また地域の中で、いろんな想定をした活動をされているところもあります。</p> <p>温度差というものが実際のところありますので、そこはまた地域の方とい</p>

	(総務部長)	<p>ろんなお話をする中でもう少し在り方をちょっと考えましょうかというような相談もさせていただきながら、取組をさせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
4. その他	(桑原会長)	<p>そのほかはいかがでしょうか。 では、今後のスケジュールの説明をお願いします。</p>
	(財政課長)	<p>策定に向けたスケジュールを配布させていただきました。この後ですが、先ほど大綱の説明の中でも申し上げましたが、市民の皆様からの意見を伺うということでパブリックコメントを実施する予定でございます。 募集の方法は、来月の1月15日に発行いたします、広報さかい1月号で、また坂井市のホームページのほうで掲載いたしまして、パブリックコメントを募集したいと思っております。 ここのスケジュールでいうと事務局の④になります。 それから第4回協議会は3月で予定しております。 最終案の調整を行い、そこで市長への答申という予定となっております。</p>
	(桑原会長)	<p>スケジュールの中で今回が3回目ということで、パブリックコメントからのご意見を経て最終になる予定ということですが、よろしいでしょうか。 これで、全体的に公開をすることになります。  それでは、協議事項としては以上となります。 進进行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
5. 閉会	(財政課長)	<p>会長ありがとうございました。 それでは本日の会議内容につきましては、会議録を作成いたしまして、委員の皆様にご確認頂いた後に、市のホームページのほうで公表させていただきたいと思っております。 今後の予定は、今ほど申し上げたとおりでございます。 第4回については、3月にまた日程決まりましたら、ご連絡させていただきたいと思っております。 以上をもちまして、第3回坂井市行政改革推進協議会を終了いたします。 本日はどうもありがとうございました。</p>